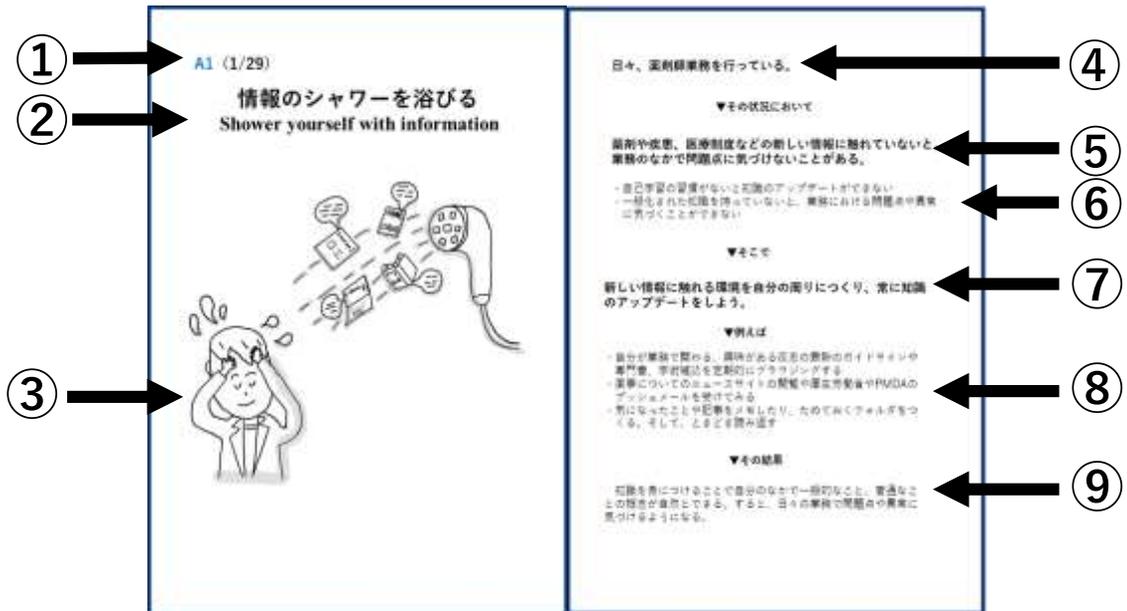


やくけんパターンの読み方

やくけんパターンは薬剤師の研究活動に関する実践知・コツを29個の言葉にしたものからできています。これらの言葉はパターン・ランゲージという形式で書かれているため「パターン」とも呼ばれます。各言葉（パターン）のページ構成は以下のようになります。



- ① パターン番号：A1-10、B1-7、C1-9、D1-3の通し番号がついています。読む順番は番号が小さいものからでも、気になるものからでもかまいません。
- ② パターン名（日本語・英語）：この名前はこのパターンの考え方全体を示すタイトルでもあり、「コツの名前」にあたるものです。
- ③ イラスト：パターン名についての理解を助け、内容をいきいきとイメージするためのものです。
- ④ 状況（Context）：そのパターンが生きてくる状況。この状況に当てはまる時は⑤「問題」が後に起こる、もしくは現時点で起きている可能性がある。
- ⑤ 問題（Problem）：④「状況」の下で起こりがちな問題・困りごとを記載している。「問題」に当てはまる場合は、⑦の「解決」を参考にすれば、改善することができる。
- ⑥ 要因（Forces）：「問題」が引き起こされる要因・理由を記載している。
- ⑦ 解決（Solution）：⑤「問題」を解消するための考え方や行動のコツを抽象的に記載している。
- ⑧ 行動（Actions）：解決策や行動の具体例を記載している。
- ⑨ 結果（Consequences）：⑦「解決」を実践すると、どのような状況・結果が起こるのかが記載されている。

やくけんパターンの活用例

【個人において】

- ・「やくけんパターン」を**読み物**として使用し、研究についてのコツを学ぶ（初めて研究を行う人向け）
- ・これまでの研究経験の**振り返りのツール**として使用する（経験者向け）
- ・**薬剤師の知り合いに共有**して、研究を一緒に始めるきっかけにする（研究仲間がほしい人向け）



【所属施設において】

- ・**職場全体**（先輩・同期・後輩の薬剤師、他職種）で**共有**して読んでみる（研究活動を行う空気を職場につくりたい人向け）
- ・後輩に読んでもらい、**研究をはじめるきっかけ**をつくる（指導者向け）



【研修会やコミュニティにおいて】

- ・「やくけんパターン」を使って**研修会**や**ワークショップ**を開く（企画者向け）
- ・参加者同士で「やくけんパターン」を読んで、内容に関する**おたがいの経験談**を話す
⇒他の人からの経験談から研究のコツを学ぶことができる（経験者向け）
- ・「やくけんパターン」を話題のきっかけにして、**未経験の人と経験者が対話**する
⇒より実践的・具体的なコツを経験者から聞くことができる（あらゆる人向け）



使っていただく皆さんのアイデアで自由に活用してください！
使用方法や使った感想などを教えていただけると幸いです。